倉敷市立玉島西中学校

校長室だより

校訓：誠実に　たくましく

第１６号

令和４年９月２１日（水）

歌声発表会を実施しました！

９月 17 日（土）に、**『3 年ぶりに響かせろ Let's 唱 time！』**のスローガンのもと、玉島文化センターで歌声発表会を実施しました。コロナ禍の限られた練習期間でしたが、一人ひとりの異なる声を一つに合わせ、音を合わせ、心を合わせて、それぞれの学級の絆や思いを「合唱」という形で表現することができたことにとても感動しました。新型コロナウイルス感染症のため、学年ごとの入替制になってしまいましたが、同学年の仲間たちの取組の成果を目と耳と心で聴くことができたのではないでしょうか。実行委員、生徒会執行部の皆さんも、当日の司会進行等お疲れさまでした。参観くださったご家庭の方々、学年別歌声発表会開催へのご協力ありがとうございました。

感染症対策のため、座席は舞台前５列を空け、間隔を空けて座りました。

本番前のわずかな時間を使って最後の声出しをしました。

３年前までの５年間は**「らしさ」**という曲を全校合唱で歌っていました。この曲については 2014 年３月 31 日付け山陽新聞の滴一滴にも紹介されています。(歌詞と楽譜は音楽室に掲示しています。)
いつかまた全校生徒が集まって、玉島文化センターのホールいっぱいにこの曲を響かせることができる日を心待ちにしています。

滴一滴

学校現場でこの歌が生まれて23年になる。春が来るたび、どれほど多くの人の心を揺さぶってきたことだろう。卒業ソングの定番「旅立ちの日に」である▼〈勇気を翼にこめて希望の風にのり…〉。力強い詞と美しい旋律が支持を集め続ける。卒業式が近づいた1991年3月、定年退職を迎える埼玉県秩父市の中学校長が一晩で作詞し、翌日、音楽教諭がわずか15分で曲をつけたといわれる▼校長は、荒れた学校を合唱指導で立て直したいという思いを胸に抱き続けていたという。教員生活最後の「贈り物」は生徒たちにしっかりと受け止められ、その後、共感の輪は全国に広がった▼今月、倉敷市内の学校で生まれたこの歌も、長く歌い継がれるだろうか。市立玉島西中学校の卒業式で披露された。タイトルは「らしさ」。3年生が自分たちでつくった▼ピアノ好きの女子生徒が作った曲に、周囲が歌いたい言葉を寄せた。「未来」「笑顔」「仲間」―。みんなの言葉と心がつながって詞になった。生徒たちの熱い思いがこもった申し出に校長が応え、卒業式での発表を快諾したという▼歌詞には将来への決意をこめたフレーズがある。〈僕らしさを胸に抱き今進んで行くんだ〉。巣立ちの日、自らの言葉を涙とともに歌った経験は、かけがえのない宝物になるだろう。　２０１４・３・31

２年生が出前授業を行いました

９月 13 日(火)に玉島青年会議所より４名の講師をお招きして、２年生がチャレンジワーク前の出前授業を行いました。「無限の可能性」というテーマで、玉島在住の高見さん、香西さん、菊池さんからお話をお聞きしました。講演の中では、自分たちの経験をもとに、仕事をするときに大切なこと（あいさつやコミュニケーションで信頼関係を作ることなど）を教えていただきました。
また、自分の可能性を広げるためには、今のうちに少しでも多く勉強をしておいた方がいいこと、「好き」だからこそ頑張れることもあるから自分の好きなことややりたいこと、目標を見つけてほしいというお話が心に残りました。

吹奏楽部オータムコンサート開催

歌声発表会の日の午後に、玉島文化センターで吹奏楽部がオータムコンサートを行いました。250 名を超える観客の前で、「Everything for a dream」「ミックスナッツ」など 11 曲（とｱﾝｺｰﾙ２曲）を演奏しました。「怪物」と「SNS ﾊﾞｽﾞﾘﾒﾄﾞﾚｰ」では１・２年生が、「初心 Love」では玉西中３年担任４名がそれぞれ華麗なダンスを披露してくれました。そして３年生８名で演奏した「愛唄」は言葉に表せない３年間の思いがこもった演奏だと感じました。